測の細道―もうひとつのルベーグ積分

卒研がなくなったので、その時間を利用し「測の細道」と題するセミナーを行います。

予備知識は数学科2年次程度の数学。

新コロ対応で2ヶ月遅くなりましたが、諸々の制限の下、やります。

記録その他のために、ご参加の方は予めご連絡ください。

時間 水13:30-15:00(初回:6月10日、合計12回程度の予定)

場所 A358

概要 測度を必要としないルベーグ積分として知る人ぞ知るのダニエル積分ですが、それをさらに整備・発展させた Stone の連作論文に基いた解説を行います。そういったものを扱ったテキストは少ないながらいくつか存在し、とりわけ Loomis の Abstract Harmonic Analysis はその白眉でありますが、ここではそれに Riesz 風の味付けを施し、可積分関数の「級数表示」という新たな器に盛って提供したいと思います。「誰でも再現できるルベーグ積分」が目標です。

資料として印刷したものを適宜配る予定です。

参考書:

http://www.math.nagoya-u.ac.jp/~yamagami/teaching/topics/integral2018.pdf